

小学校での公共交通出前授業の実施について（案）

京都府交通政策課

1. 開催日時

平成23年2月24日（木）5・6時限
（「総合的な学習の時間」として授業実施）

2. 場 所

京丹後市立網野南小学校

3. 対 象

同小学校5年生 33人

4. 講 師

大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻
松村 暢彦 准教授

5. 内 容

大学教員による公共交通と環境を考える授業
＜ポイント＞

- ①松村准教授が開発した「交通すごろく」を用いた体験型授業により、公共交通と地域社会の関係を学習
- ②上限200円バスの取組を実現した京丹後市職員も交えた取組紹介
- ③大学、小学校、行政の連携による授業であり、府中北部地域では今回初めての取組（京都府の役割はコーディネートと講師派遣）

※交通すごろく：「クルマ」「電車・バス」の2種類の交通手段カードを使ったじゃんけんで駒を進める双六ゲーム。例えば、電車・バスは3進め、クルマは多くの参加者が出した場合はあまり進めない等のルールの中、クルマと渋滞発生、まちづくり等との関係を考える。



6. 目 的

交通・環境学習を通じて、児童が自分たちの住んでいる地域の歴史や環境等について気づき、考えるとともに、地域の公共交通であるバスの走る意味やまちづくりについて学ぶことを目的とするもので、京都府では平成17年度から南部地域で実施。

※直近の実施実績：京都府域では、平成22年度は城陽の1小学校で、平成21年度は久御山町の3小学校で実施。講師はいずれも大阪大学 松村准教授。